

2021年11月1日

第147号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：相山 広美
 編集担当者：日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

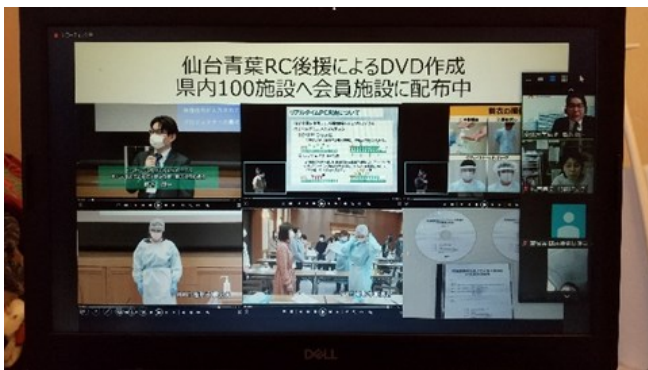
- ◇宮城県臨床検査技師会施設連絡者会議で連盟PR活動
- ◇睦元将吾衆議院議員をお招きして「宮島よしふみオンライン国政報告会」を開催
- ◇政権公約に関する『政策懇談会』の開催報告
- ◇参議院議員補欠選挙への対応

宮城県臨床検査技師会施設連絡者会議で連盟PR活動

コロナ禍で集合形式の研修会や会議の開催されない中で、連盟加入者を増やすことはなかなか難しい状況です。宮城県臨床検査技師会（宮臨技）も例外ではなく理事会はWEB形式で開催されており、対面で連盟情報を伝えることも出来ない状況が続いています。そのような中、宮臨技では令和3年10月17日（日）10時から令和3年度第1回施設連絡者会議（代表者会議）を開催しました。施設連絡者会議では参

宮島会長は多忙にも関わらず、予定の時間にはWEBに入室していただき日臨技の目指すところをお話ししていただきました。タスク・シフト/シェアについては一部の会員から仕事が増えてしまうとの苦情をもらっているが、単純に仕事量を増やすものではないと考えて欲しいと述べ、法律を変えてまで行う行為と、現行法で行える行為があるとして、医師のみが行える行為以外を他医療職種が分担して業務拡大することが出来ることを理解してもらいたいと話しました。

会議の最後に相山代表から連盟の必要性をお話し



加者を多く集めるために、宮島日臨技会長のお話と相山日技連代表のお話を組み入れて案内をした結果、会議には50名余りの参加を頂きました。

会議は初めに藤巻宮臨技会長から宮城県と全国の技師会活動報告と特にタスク・シフト/シェアについて報告がありました。検体採取講習会の様子を記録したDVDの配布も報告しています。

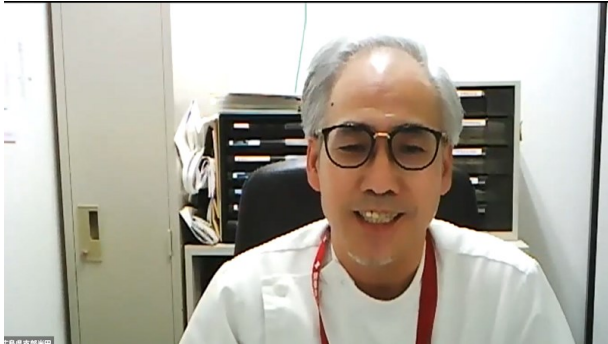


いただきました。現在宮島参議院議員は臨床検査技師及び臨床検査関係の代表として活躍していることと、臨床検査技師の地位向上には国会議員の擁立が必要で、そのためには日臨技と日技連が両輪で支えなければならないとした。日技連加入には2万人の目標があるがまだ2117名の参加しかなく、少しでも多くの加入をお願いいたします。



畦元将吾衆議院議員をお招きして「宮島よしふみオンライン国政報告会」を開催

令和3年10月19日（火）18時30分よりZoomにて「宮島よしふみオンライン国政報告会」を開催した。全国から大勢の人が参加し盛況を博した。



広島県支部長 米田登志男氏

日本臨床検査技師連盟広島県支部長 米田登志男氏が進行した。先ず日本診療放射線技師連盟理事長 芳士戸治義氏の挨拶の後、日本臨床検査技師連盟代表 梶山広美氏が挨拶に立った。その後、前衆議院議員 畦元将吾氏が情勢報告を行った。奇しくも当日は、第49回衆議院議員総選挙の公示日と重なり、選挙戦の幕開けとして、非常に意義深いものとなった。



前衆議院議員 畦元将吾氏

畦元議員は、その後、12日間の選挙戦を戦い抜き、見事、比例中国ブロックにて当選を勝ちとった。講演の中でも、畦元議員は診療放射線技師連盟は、臨床検査技師連盟との強固な協調関係に言及され、来夏に予定されている参議院議員選挙においても、会を挙げて宮島喜文氏を応援すること約束した。

最後に、宮島参議院議員が登場し、国政報告を行った。ようやく終焉を迎えつつあるコロナ禍を振り返り、経済活動再開に向け意気込みを語った。

今後は、職域を超えての選挙協力体制が重要であると思われた。



参議院議員 宮島喜文氏



日本臨床検査技師連盟 代表 梶山広美氏



日本診療放射線技師連盟理事長 芳士戸治義氏

政権公約に関する『政策懇談会』の 開催報告

自民党の政権公約に関する政策懇談会が10月18日、党本部で開催されました。党本部に集まった友好団体の代表者ら参加者約200人に加え、約1500人がオンライン形式で全国から参加。高市早苗政務調査会長が自民党の衆院総選挙に向け取りまとめた公約について説明されました。国会からは滝野事務局長と私（深澤幹事長）がオンラインにて参加をいたしました。

懇談会では羽生田参議院議員の司会の下、甘利明幹事長、遠藤利明選挙対策委員長、小淵優子組織運動本部長も出席し、それぞれ総選挙に向けた結束を呼び掛けたほか、総選挙の「前哨戦」として10月24日に投開票日を迎える参議院静岡県および山口県補欠選挙に向けたさらなる協力を呼び掛けられた。

高市政調会長から、公約の重点項目の冒頭に新型コロナウイルス感染症から命と暮らしを守る自民党の決意を強調。コロナ後の経済社会の姿として、「新しい資本主義で分厚い中間層を再構築する」と決意を示された。また、「大胆な危機管理投資で安全で強靱な国を創る」など、政権公約の特色を分かりやすく説明を頂きました。

文責：深澤

第49回衆議院議員総選挙立候補者推薦 支援について

衆議院は、令和3年10月14日に解散し、標記総選挙が、告示日10月19日、投開票日10月31日で実施され、当連盟は、「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」に所属している公認候補者をもとに「為書き」と「推薦状」を発行し、各候補者選挙事務所へ直接訪問し、手渡しの対応をいただきました各支部長のご協力に深く御礼申し上げます。

結果としては、次のとおりでした。

支援者数	43人
当選	26人
比例復活当選	10人
落選	7人



写真は、沖縄県支部瀬戸司支部長、手登根稔会長
後援会会長：赤嶺勇氏

参議院議員補欠選挙への対応

告示10月7日、投票開票日10月24日

- ・参議院山口県選挙区選出議員補欠選挙
- ・参議院静岡県選挙区選出議員補欠選挙

に対応いたしました。

各支部のご尽力に感謝申し上げます。

結果につきましては、山口県選挙区 北村 経夫氏は当選を果たしました。静岡県選挙区若林洋平氏は残念ながらおよびませんでした。



左から宮島参議院議員 北村候補 山口県技師会 洪田秀美会長